

# 令和4年度 PTA教養講座 山田堰をアフガニスタンへ ～よみがえった緑の大地～

故中村哲医師の「百の診療所よりも一本の用水路」の思いのもと始まったペシャワール会の灌漑事業。用水路の建設に携わった川口拓真さんより、実際にアフガニスタンで現地事業を通して経験したこと、中村哲医師から学んだことなどを話していただきます。



人々の生活を支える水路



送水されたマルワリード用水路(全長 25km)

日時: 令和4年12月16日

13:50~14:50

場所: 東峰学園 武道場

講師: 川口 拓真さん

## ペシャワール会/PMSについて

ペシャワール会は、1983年9月、中村哲医師のパキスタンでの医療活動を支援する目的で結成された国際NGO団体です。また、PMS (Peace Medical Services) は中村哲医師率いる、現地での活動を行っている平和医療団です。PMSは医療団体ですが、病気の背景には慢性の食糧不足と栄養失調があることから、砂漠化した農地の回復が急務だと判断し、今なお進行する大干ばつのなか灌漑水利事業に重きを置いて、現在はドラエール診療所、農業事業、灌漑事業と訓練所でのPMS方式取水技術の普及活動を行っています。2019年12月中村哲医師が銃弾に倒れてから、「事業は全て継続し、希望は全て引き継ぐ」を合い言葉に活動を続けています。